

校訓：「やさしく」 人権集会・荒尾支援学校との七夕交流会

6月21日(金) なかよし委員会の人権スローガン「友達のよいところをみつけよう！」の宣言で始まり、校長の話、DVD「山の粥(かゆ)」の視聴、感想発表、教頭講評の流れで人権集会を開催しました。

【校長の話】(概要)

「思い込みやきめつけ、本当かどうか分からないこと(うわさなど)をうのみにして、他者に伝えることで人の心を傷つけてしまう。いじめや差別を広げることになる。自分で確かめる、本当のを知ることが大事である。」

右の図では、けいこさんは、聞いたことをうのみにせず、誰にも伝えていません。けいこさんのような人になることを願って話をしました。本当のことであっても、他者を傷つけることは言うべきではないことも話しました。子どもたちには伝えてはいいませんが、右図はSNSでのいじめの連鎖と同じことを表しています。

【教頭講評】(概要)

子どもたちに、今後の方向性・生き方につながる話をされました。「相手によって態度を変えていませんか。」「いやそうな言い方をしていませんか。」「傷つける言葉を使っていませんか。」「その人がいないところで言っていますか。その人が聞いたら大丈夫ですか。」

これらの言葉を聞きながら、子どもたちだけではなく、自分自身はどうなのかと、私の言動も振り返ったところです。

【子どもたちの人権スローガンを受けて】

私たち職員も「子どもたちのよいところを見つけよう！」「お互いのよいところを見つけよう！」をスローガンとして、「子どもと子ども」「職員と子ども」「職員と職員」、お互いの人権を尊重し合う、人権尊重の精神に立った学校作りを進めていきます。

〇〇さんから、
きいたけど、

たかお

ひでお

けいこ

あきら

あきこ

たろう

けんた

ひとみ

けんじ



笑顔満開の七夕交流会

平成3年から始まった荒尾支援学校との交流会。障害の有無にかかわらず、誰もが相互の人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指す取組の一つとして開催しています。昨年もそうでしたが、みんな笑顔です。みんなやさしいです。

1年に1回の交流ではありますが、継続して交流することが、いかに大切かということ子どもたちの姿から実感させられました。

第12回「いじめ防止標語」全国賞作品より

自分事としてよんでいる標語を掲載します。

○いじめの波 私はぜったいに流されない
(小学校4年生)

○まねするな これがぼくのしゃべりかた
(小学校3年生)

○いじめだと思わない 自分がとてもこわい
(中学校3年生)

○服装や髪型見るなら いじめ見て
(小学校6年生)

お知らせ：「国旗掲揚台」が解体される日が決定しました。

7月13日(土)です。

お願い：7月5日の授業参観、大変お世話になります。参観後、子どもたちは下校となります。普段学童に預けられている方は、できるだけ学童保育の利用をお願いいたします。

夏休み中の地域貢献

近い将来、子どもたちには、地域の担い手として活躍して欲しいと願っています。授業では、地域貢献を意識した学習活動も展開しています。

昨年の夏休みには、学校応援団COの平山さんや保護者、南関こどもの丘保育園のご協力のもと、5年生(現6年生)の3名の子どもたちが園児への読み聞かせを行いました。「かかしコンクール」では、3名が実行委員として、企画から関所祭り当日(投票の日)まで、頑張ってくれました。どちらも「地域貢献」です。その他、ぎおんさんでのソーラン節や御神楽の発表も地域貢献です。読み聞かせで園児や園の先生方に喜ばれ、関所祭りやぎおんさんの観衆から評価を受けることで自己有用感や、やりがい感を実感したことと思います。このやってよかったという実感が、将来の町の担い手が育つ芽となっていきます。

先日、昨年の読み聞かせの経験者に話をしたところ、「(今年も)やりたいです」と即答。他にも子どもたちができそうな夏休み中の「地域貢献」活動について、関係機関と相談しているところです。保護者の皆様には、ご協力をお願いすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

以下の6つのことを、今年も時々掲載させていただきます。

- ① 事故防止、繰り返し、繰り返しの声かけを
- ② 早ね・早起き・朝ご飯+運動
- ③ ケイタイ・スマホにフィルタリング、心にもフィルタリングを
- ④ 家庭でも・地域でも・学校でも、人を笑顔にするあいさつを
- ⑤ 見つけよう、小さな成功体験 子どもの可能性は無限大
- ⑥ 家庭学習と翌日の準備の徹底を
- ご家庭での約束を